6/19
コピー

栃木県作業療法士会　様

お礼

拝啓　初夏の候、皆様におかれましてはそれぞれの地域での作業療法を通じ、ますますご活躍のことと存じます。

昨年 7 月の新潟県中越沖地震の際には、全国の都道府県作業療法士会様を中心に、連絡協議会支部、勤務施設や勉強会、また個人の方々と大勢の皆様から心温まる励ましのお言葉、お気持ちとともに義捐金ならびに見舞金をお送りいただき本当にありがとうございました。ここに心より深くお礼を申し上げますとともに、地震発生からやがて一年間となる現在までの活動について報告をさせていただきます。

新潟県作業療法士会が行う、被災地区の皆様に対しての支援活動資金としてご協力をお願いしました義捐金は、合計で 1,230,679 円をお寄せいただきました。

別添え支援活動報告にありますように、私たちは地震発生から、視察、災害対策本部設置、避難所への支援、仮設住宅への支援などの活動を行ってきました。義捐金はこれらの活動に要した旅費や材料費など被災者支援活動の資金として使わせていただいております。予期せぬ大災害への支援活動を地道ながら現在も継続できるのは、皆様からお寄せいただいた義捐金ならびに励ましやお心遣いのお言葉という大きなご支援のおかげと強い感謝の気持ちでいっぱいです。

また、被災会員への見舞金は合計 531,337 円をお寄せいただきました。見舞金の分配は、罹災証明の提出をもって募集し、全壊 1 名、大規模半壊 3 名、半壊 1 名、一部損壊 5 名、計 10 名の会員に分配させていただきました。平成 16 年の中越大震災後 2 度目の被災ということもあり全国からのお見舞いは被災会員に対して大きな励ましとなったものと思います。ありがとうございました。

仮設住宅を中心とした支援活動は中越大震災時と同様、仮設住宅の期限である 2 年間を目標に継続していく予定でおります。手探りのうちに行っている活動ではありますが、作業や活動を通し人と触れ合うという当たり前のことは、人を元気にし健康の維持に役立てるものと信じ、地道に継続していきたいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

本来であれば、早い時期にそれぞれの皆様へお礼とご報告をするべきところと存じますが、本状をもってお礼ならびにご報告と代えさせていただきます。誠にありがとうございました。

敬具

平成 20 年 6 月 16 日

（社）新潟県作業療法士会　会長
中越沖地震災害対策本部　本部長
水越　裕之　拝

新潟県中越沖地震における(社)新潟県作業療法士会の活動について

平成１９年７月１６日に発生した新潟県中越沖地震へのこれまでの県士会の活動について、簡単ですが経過に沿ってご報告させて頂きます。

経過

平成１９年７月１７日　対策本部立ち上げ

平成１９年７月１７,２２日　現地視察

平成１９年７月２８日～８月２６日　福祉避難所等への支援活動

新潟県より「中越沖地震による避難生活に伴う介護予防について（依頼）」あり。これを受けて、柏崎市役所理学療法士を窓口に、新潟県理学療法士会、新潟県言語聴覚士会とともに「福祉避難所利用者」「地震による緊急ショート利用者」への支援活動を行う。

日数：１３日間（土、日中心）

参加会員：延べ４６名

活動場所：福祉避難所６ヶ所、施設９ヶ所、一般避難所１回、個別訪問２回

平成１９年９月１日　柏崎市避難所閉鎖。

平成１９年１０月１３日～１１月１１日　仮設住宅への支援活動

新潟県より「仮設住宅の支援について（依頼）」あり。柏崎市役所理学療法士を中心にＰＴ・ＯＴ・ＳＴ合同会議開催し、３県士会合同で仮設住宅に付設するサポートセンター（集会所）での集団活動を行う。

日数：９日間（土、日のみ）

参加会員：延べ２０名

活動場所：サポートセンター１２ヶ所

平成１９年１１月１１日にて支援活動終了。その後柏崎市職員により会は継続されている。

平成２０年２月～　仮設住宅への手芸ボランティア支援活動（継続中）

柏崎市社会福祉協議会の協力のもと、仮設住宅に付設する談話室にて手工芸、軽体操、茶話会を中心として活動を開始。

日時：毎月１回　土曜午後

参加会員：１回につき２～５名程度

活動場所：２ヶ所

今後はこの月１回、２ヶ所活動を仮設住宅が閉鎖されるまで継続していきたいと考えております。

以上、ご報告させて頂きます。